



室小だより

茅ヶ崎市立室田小学校

令和7年度 9月号

校長 村越 さゆり

学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的・創造的に行動する子の育成

～ やさしく かしく たくましく ～

前期後半の始まりです！

44日間の長い夏休みが終わり、今日から学校が再開しました。大きな事故等の報告はなく、無事に過ごせたものとほっとしています。夏休みの間には、子どもたちの生活は、学校から家庭へと移り家庭や地域の皆様の温かいご支援の下で、様々な経験を通して一人一人成長したことでしょう。

本日より、前期後半開始です。子どもたちは、早く友だちと会いたくて、遊びたくてたまらなかったのではないのでしょうか。学校では子どもたちの声がこだまし、息を吹き返しました。教室で久しぶりに会った子どもたちは、夏休み前までの関係性にスッと戻ってほっとしたり、照れ隠ししたりと様々ではありますが、互いに受け止めあい、友達との会話を楽しんでおりました。まだまだ、残暑厳しい日々ではありますが、本校でも熱中症予防を徹底してまいります。この9月は、子どもたちには前期のまとめの時期として、じっくり学校生活に取り組んでもらえるよう願っております。

茅ヶ崎市いじめ防止サミットの開催

今年も市内の全小中学校参加で、いじめ防止サミットが8月26日（火）に開催されました。今年で7回目になりますが、茅ヶ崎市役所議場を会場に、茅ヶ崎市立小中学校32校の代表が一堂に会し、茅ヶ崎市で取り組むいじめ防止の方針(テーマ)について話し合う機会となりました。教育長から「とても大切な話し合いである」というお話があり、議長を中学生の代表者が務め、各学校の参加者の自己紹介と各学校のいじめ防止に対する思いを発表しました。そのあと「市内で取り組むいじめ防止の方針(テーマ)」に向けて、事前アンケートやこれまでの取り組みを参考にしながら、中学校区別のグループで協議をしました。それぞれのグループで話し合った内容を全体で共有し、意見を積極的に発言する子どもたちもいて、とても頼もしい協議でした。本校から参加した3人もライントラブルに視点を置き発言していました。各学校での取り組みの発表や協議の中にしっかりとしたいじめ防止につながる言葉がたくさんありました。いくつか紹介します。

・一人一人の個性を尊重する ・多様性を認める ・一人一人を大切にする ・心に寄り添う ・「ありがとう」で感謝を「大丈夫」で思いやりを ・言葉の暴力は気づきにくい、言葉遣いに気をつける ・ポジティブな表現 ・相手のよいところを見つける、外見で判断せず内面のよいところを見つける ・いじめについて理解する ・いじめがよくないことと知ること、いじめについて知らないこともあるのでそれを知りたい ・見て見ぬふりをせず、いじめの種を見逃さない、発展させない ・クラスラインで噂話をしない、信じすぎない ・噂話を聞いてもそれを流さない ・「いじり」に乗っからない ・いじめは身近なものであり、いつでもやってしまう、やられてしまうがおきる ・いじめは絶対に許さない

紹介しきれませんが、こういった発言の中から、3つのテーマが絞られました。

- 1, 身近な言葉で思いやろう
- 2, 思いやりを 持続ける、忘れない
- 3, 日ごろから接し方や言葉遣いを意識して生活する

本校のいじめ防止の取り組みにつなげていけるよい機会となりました。